

製品名: Six2 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab17922

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300

分子量

抗原情報

遺伝子名	SIX2
別名	SIX2; Homeobox protein SIX2; Sine oculis homeobox homolog 2
遺伝子 ID	10736.0
SwissProt ID	Q9NPC8
免疫原	Six2 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 30-110

背景

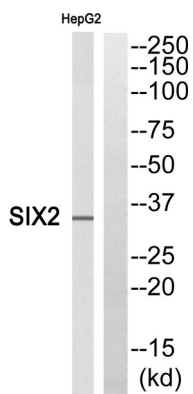
この遺伝子は、ショウジョウバエの「sine oculis」ホメオボックスタンパク質と相同性のあるタンパク質をコードする脊椎動物遺伝子ファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質は転写因子であり、この遺伝子ファミリーの他のメンバーと同様に、四肢

または眼の発生に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 12 月]機能: 四肢の腱および靭帯の発生に関与している可能性があります。類似性: SIX/Sine oculis ホメオボックスファミリーに属します。類似性: 1 つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。組織特異性: 骨格筋で強く発現します。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、ドメインファミリー、発生ファミリー、幹細胞、間葉系幹細胞、軟骨形成、発生生物学、器官形成、排泄器官の発達、腎臓の発達

画像データ



SIX2 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが SIX2 ペプチドでブロッキングされている。